



過去から未来まで：

OAKLEY®と STAPLE、1992年に発表された初代 SUB ZERO を新たにアップデートしたモデルと 2022年モデルとなる RE:SUBZERO の2つのモデルで構成されるリミテッドエディションのコレクターズパックを発表

両モデルに SF から着想を得たマーブルの渦巻デザインを採用

最新の Oakley® x STAPLE コラボは、アップデートされ一新した歴史的デザインをミックスしたコラボとなります。リミテッドエディションのコレクターズパッケージには、1992年に発表された初代 Sub Zero と 2022年の最新モデル Re:SubZero が含まれます。初代 Sub Zeros は、発表された当時、重量1オンス以下の時代の先を行くモデルでした。今回の最新コラボでは、極めて軽いフレームで初代モデルと同じ見事な技術が再現されています。いずれのモデルも、SFの代名詞と言える模様におまージュを捧げつつ、レジェンドの名にふさわしいシルエットに敬意を表す総ブラックのフレームが特徴で、ホワイトのマーブルから着想を得たデザインが採用されたテンプルで仕上げられています。

Oakley のブランドソウル&クリエイティブ部門バイスプレジデントのブライアン・タクミ (Brian Takumi) は次のようにコメントしています。「今回のコレクションは、Oakley と STAPLE の原点と今後向かって行く先の両方に光をあてる方法で、過去と未来をつなぐコレクションです。STAPLE の創設者であるジェフ・ステイプル (Jeff Staple) と STAPLE のスタッフは、今後も引き続き、アイウェアとアパレルの可能性についての独自の展望を Oakley に注ぎこんでくれる存在となるでしょう。マーブルから着想を得た今回のコレクションの主力フレームは、初代 Sub Zero、そして Oakley がこれまで生み出してきたどのモデルとも異なる Sub Zero の最新モデルの魅力が閉じ込められたアイテムとなります。コレクションのテーマ同様、コレクションの制作過程で Oakley は STAPLE と共に新境地を探求しました。このコラボの成功を推進するため燃料を注ぎ続けているものがあるとすれば、それは、独自のデザインと新たなアプローチをひたむきに追求する姿勢でしょう」

Sub Zero コレクターズパックには、初代 Sub Zero の新たなバージョンとアップデートされた最新の Re:SubZero が含まれます。いずれのフレームにも「Pigeon」(鳩)のロゴがレーザーで刻まれたブラックの Premium Prizm™ レンズとマーブルの渦巻模様のデザインが特徴のテンプルが採用されています。いずれも過去と未来の魅力に触れさせてくれる極めて軽いモデルとなります。

STAPLE と Reed Art Department の創設者であるジェフ・ステイプルは次のようにコメントしています。「今回のコラボで、私たちは Oakley のクラシックモデルであり多くの人々から崇められている「Sub Zero」をアップデートしました。個人的に今回のコラボのフレームは、Oakley の

比類なき技術イノベーションが注ぎこまれた、前例のないシンプルで未来的なデザインに仕上がっていると思っています。両方のモデルに「Pigeon」（鳩）のロゴをレーザーで刻み、マーブルから着想を得たマーブルのデザインを採用することで、独自のひねりを加えました。

6月に二部構成の製品コラボとして3種類のモデルを発表しましたが、今回のコラボはそれに続く今年最後の二部構成の製品コラボとなります。最新の Oakley x STAPLE Sub Zero コレクターズパックの販売開始日と取り扱い店舗は次の通りとなります。

- **11月3日**：[Oakley.com](https://oakley.com) で販売が開始されます。続いて世界中の Oakley の正規店と StaplePigeon.com でも販売される予定です。今後も oakley.com および @Oakley で公開される最新情報をお見逃しなく。

Oakley x STAPLE Sub Zero コレクターズパックに関する詳細は、[Oakley.com](https://oakley.com) をご確認ください。また、@Oakley と @staplepigeon をフォローし、最新情報をお見逃しなく。

#

Jeff Staple について

Jeff Staple（本名 Jeffrey Ng）は、グラフィックデザイン、ファッションデザイン、フットウェアデザイン、ブランドマーケティングの分野でマルチに活躍するクリエイティブビジョナリーです。REED ART DEPARTMENT（旧 Staple Design）の創設者で、新しいブランドから Fortune 100 の大企業まで、数多くのクリエイティブプロジェクトを手掛けています。1997年には「Pigeon」（鳩）のロゴを掲げ、ニューヨークを拠点に時代の先駆けとなるストリートウェアブランドを設立。2002年には、実験的なライフスタイルショップ「REED SPACE」を立ち上げました。